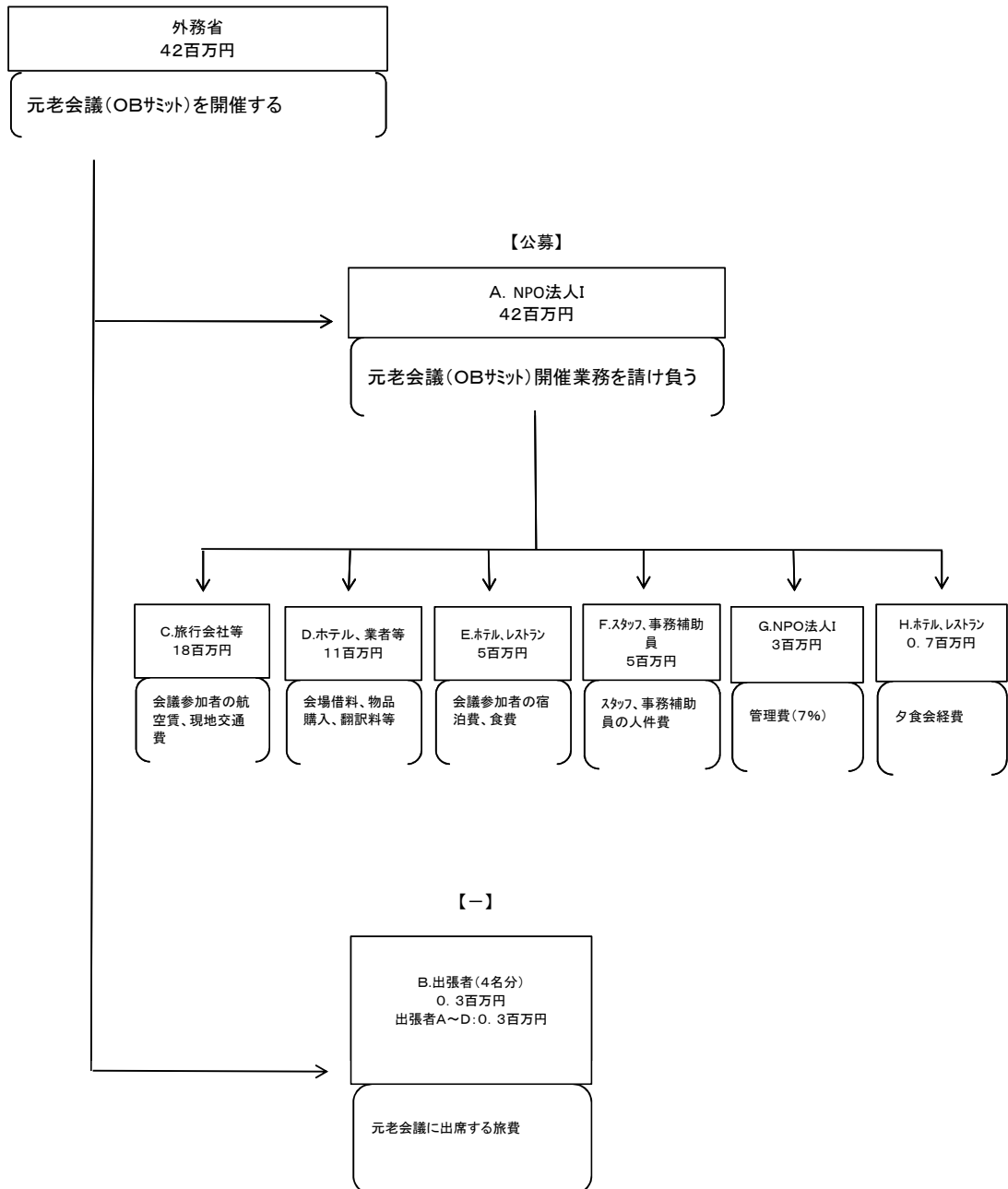


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	元老会議開催関係経費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和58年度	担当課室	政策企画室	室長 中村 亮				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第31条第2項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各国の大統領乃至首相経験者が、その経験と識見に基づき、国際社会が直面する様々な課題について意見交換・政策提言を行う、元老会議(OBサミット)を開催する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	元老会議(OBサミット)は、1983年、故福田赳夫元総理の提唱により設立された。現在、我が国からは福田康夫元総理がメンバーとなっている。同会議では、各国の大統領乃至首相経験者が、その経験と識見に基づき、自由な立場からグローバルな課題について意見交換を行い、総会でまとめられる政策提言はコミュニケとして発表される。会議出席者には国際的な世論形成における有力者が多く、会議の成果は国際的な動向に影響を与えるとともに、我が国の総合的な外交政策の企画立案の一助となってきた。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	50	49	42	9	8	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	50	49	42	9	8	
		執行額	50	49	42			
	執行率(%)	101	100.8	99.6				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	(成果目標) 各国の大統領乃至首相経験者が、その経験と識見に基づき、国際社会の直面する様々な課題について毎年意見交換・政策提言を行う。		成果実績	件(政策提言の数)	1	1	1	1
	(成果実績) 政策提言の数		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	(活動指標) 毎年定められたテーマに従い、専門家会合を開催し、同会合での提言を基に、各国の大統領乃至首相経験者が総会時に意見交換・政策提言を行う(平成23年5月の総会は、水資源を巡る危機や、大量破壊兵器に関する声明を発出した)。		活動実績 (当初見込み)	回(専門家会合、年次総会開催地)	2(ハンブルグ、ストックホルム)	2(ベルリン、ジェネヴァ)	2(広島市、広島市)	1(ケベックシティ) ※年次総会予算のみ支出
	(活動実績)専門家会合及び年次総会開催実績							
単位当たりコスト	9百万(円/提言1件)		算出根拠					
平成23 (単位:千円 年度予算内訳)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	年次総会開催経費	8,788	8,431					
	計	8,788	8,431					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件会議開催経費については、公募にて受注したNPO法人IIに対して支出し、予算を有効活用した。支出に際しては、証拠書類の提出を求め、必要性を厳正に確認した上で支払いを行った。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.NPO法人I			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	航空賃	航空会社等への参加メンバー等の航空賃、交通費	18			
	会議費	会場借料、業者等への物品等購入、翻訳料等	11			
	宿泊・食費	ホテル、レストランへの参加メンバー等の宿泊費、食費	5			
	人件費	スタッフ、事務局補助員雇用経費	5			
	管理費	管理費(7%)	3			
	計		42	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. NPO法人 I

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人 I	元老会議(OBサミット)開催業務	42	1	公募
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 出張者(4名分)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	元老会議(OBサミット)出席	0.1	—	—
2	出張者B	元老会議(OBサミット)出席	0.1	—	—
3	出張者C	元老会議(OBサミット)出席	0.04	—	—
4	出張者D	元老会議(OBサミット)出席	0.1	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. 旅行会社等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	旅行会社等	会議参加者の航空賃、現地交通費	18	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D. ホテル、業者等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ホテル、業者等	会場借料、物品購入、翻訳料等	11	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.. ホテル、レストラン

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ホテル、レストラン	会議参加者の宿泊費、食費	5	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F. スタッフ、事務補助員

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	スタッフ、事務補助員	スタッフ、事務補助員の人件費	5	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

G. NPO法人 I

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人 I	管理費(7%)	3	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

H. ホテル、レストラン

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ホテル、レストラン	夕食会経費	0.7	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					